山田高・木下が完封

本庄一を4−0 3回戦進出

第90回全国高校野球選手権大会第10日は11日、甲子園球場で2回戦を行い、第1試合で本県代表の青森山田は本庄一（北埼玉）と対戦し、4-0で完封勝ち、3回戦に コマを進めた。青森山田は六回、2本の安打で先制に成功、八、九回には相手の守備の乱れにつけ込んで3点を追加した。主戦・木下は、得点圏に何度も走者を背負ったが、落ち着いた投球でしのいだ。要所で一塁手斎藤樹、遊撃手宮守、左翼手曲尾らの堅守も光った。青森山田の3回戦進出は2年ぶり。第13日の14日第2試合に登場し、ベスト8進出をかけて戦う。

青森山田は初回、二回、四回、五回と、得点圏まで走者を進めながら、本庄一の堅守に阻まれて好機を生かせなかった。六回、曲尾の安打などで二死一、二塁から、荒張の遊撃手後方への飛球が安打となり長谷川が生還、待望の先制点をもぎ取った。八回には、敵失で出塁した長谷川が暴投の間に一気に三進。曲尾の犠飛で貴重な2点目を挙げた。九回には、敵失でチャンスに得た好機に宮守がピッチャー強襲の適時打。なおも、相手守備の乱れから4点目を挙げた。

主戦木下は五回、本庄一の九番木部の安打と野選、四球で一死満塁の危機を迎えたが、後続を打気迫の投球で得点を許さなかった。

▽2回戦

青森山田	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4
本庄一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（青）木下―矢野
（本）萩原、伊藤―小林

【本庄一―青森山田】本庄一打線を6安打完封に抑えた木下

詳細は夕朝刊で

東奥日報
〒030-0180
青森市第二問屋町３丁目１番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2008

インターネット号外

購読のご案内・お問い合わせは
東奥日報社読者局
0120-46-5939（ヨム・コウドクサンキュー）
24時間受付

(C)2008 THE TO-O NIPPO　http://www.toonippo.co.jp/